



2018年度

●第24回栃木県実業団対抗秋季テニスリーグ

- 期日：2018年6月 30日(土)～11月 18日(日)
- 会場：各実業団保有テニスコート，栃木県総合運動公園テニスコート
- 主催：栃木県テニス協会
- 後援：下野新聞社
- 協賛：ブリヂストンスポーツ株式会社
株式会社アムスコポレーション
- 主管：栃木県テニス協会実業団委員会

《 大会役員 》

- 大会会長：上野 通子
- 参与：市村 茂夫・富田 勲・高橋 一
- 大会委員長：神山 康洋
- 大会副委員長：吉井 正光・吉羽 清美・壁屋 行雄・松井 一浩
- ディレクター：井田 義明
- アシスタントディレクター：儀賀 章仁
- レフェリー：江連 雅晴
- アシスタントレフェリー：滝川 達也・加藤 貴哉
- 運営委員：川田 卓也・山下 好美・大内 拓馬・古谷 優弥

ホームページ URL <http://www.tochigi-tennis.com/businessmain.htm>

2018年度 第24回 栃木県実業団対抗秋季テニスリーグ 試合要項

1. 主催 栃木県テニス協会
2. 主管 栃木県テニス協会実業団委員会
3. 協賛 ブリヂストンスポーツ株式会社
株式会社アムスコポーレーション
4. 会場 各実業団保有のテニスコート, 栃木県総合運動公園テニスコート
5. 試合日程

	日程	集合時間	場所
① 男子ノ予選リーグ	6月30日(土)～10月21日(日)	-	各自
② 男子ノ決勝リーグ	11月4日(日)、11(日)	9:00	県総合運動公園テニスコート(16面)
③ 女子ノ決勝リーグ戦	11月4日(日)	9:00	県総合運動公園テニスコート(16面)
④ 男子ノ県央入替戦	11月4日(日)	8:50 及び 11:50	県総合運動公園テニスコート(16面)
⑤ 予備日	11月18日(日)	別途連絡	県総合運動公園テニスコート(6面)

※但し、女子のエントリー状況により集合時間を変更する場合があります。10月中旬に決定します。

6. 試合方法

(1) 男子:

【地区予選リーグ】

- ・各地区ラウンドロビンによるリーグ戦(県央は1～5部制)
- ・D2, D1, S3, S2, S1の順で5ポイント
- ・各地区上位チームは決勝トーナメントへ出場(県央:4, 県南:2, 県北:2)

【決勝リーグ】

- ・各地区代表8チームによる決勝リーグ
- ・8チームを2ブロックに分け、ラウンドロビンによる総当たり戦後、上位4チーム、下位4チームのラウンドロビンによる総当たり戦。但し、1度対戦した相手とは試合は行なわない。
- ・1ダブルス+2シングルの対抗戦(3ポイント)。試合順はD, S2, S1。
- ・ダブルス、シングルの重複出場は不可。
- ・前大会ベスト4の地区にシード権を与える。(チームではない)
今大会は第1シード: 県央 第2シード: 県央 第3シード: 県央 第4シード: 県南

【県央地区入替戦】

- ・各部の優勝チームは上位部に昇格する。各部の最下位チームは下位部に降格する。
- ・各部の準優勝チームは上位部の第6位チームと入替戦を行う。勝者チームは上位部に昇格又は残留する。なお、本ルールは2005年6月26日監督者会議の合意事項である。

(2) 女子:

- ・最終的なチーム数確定後に決定。

(3) 試合方式

- ・男女共に8ゲームスプロセットマッチ(8オール時, 7ポイントタイブレーク)
- ・天候あるいは試合進行状況により, 1セットマッチになることがある。
- ・病気, 冠婚葬祭, 業務などの理由により, メンバーが3人しか出場できない場合でも試合は成立とする。但し, 男子地区予選リーグではダブルスNo.2の試合を, 決勝大会ではシングルスNo.2をWOとすることをオーダ交換前に対戦相手に事前に通知すること。

(本ルールは2007年6月24日開催の監督者会議の合意事項)

- ・OG, OB, 派遣社員, 業務委託社員の登録は計2名までとし, 男子地区予選, 県央地区入替戦, 男女決勝大会とも出場は1対抗につき1ポイントまでとする。

(本ルールは2012年1月29日開催の実業団総会の合意事項)

(4) その他

- ・男子地区予選リーグにて天候等により開催不可となった場合には当事者同士にて日程調整の上, 後日開催し全日程を消化して下さい。
- ・2018年度テニスルールブックを遵守下さい。
- ・男子地区予選リーグの試合設定後, 試合日2週間前を過ぎてからのキャンセルは, 相手チームが調整可能な場合を除き, いかなる理由でも0-5で当該チームの負けとなります。

7. ラウンドロビン方式による順位決定方法

『2018年度テニスルールブック』に従う。

- (1) 勝率の高い方を上位とする。
- (2) 同勝率者が複数になった場合
 - 1) 2チームが同率になった場合は, 互いの対戦結果(直接対決)の勝者。
 - 2) 3チームが同率になった場合は以下の要素で順位を決定する。
 - ① 合計の勝利試合数の多いチームが上位。
 - ② 「①」が同じ場合, 全試合での取得セット率(%)
取得セット率 = 取得セットの合計数 ÷ 全試合のセット合計数
 - ③ 「②」が同じ場合, 全試合での取得ゲーム率(%)
取得ゲーム率 = 取得ゲームの合計数 ÷ 全試合のゲーム合計数
- (4) ノーショウ, または失格者の取得ゲーム数はすべて0とする。
- (5) けが等によるリタイヤの場合は, 勝者はリタイヤの後, 残りのゲームをすべて勝ったとしてゲームを記録し, 敗者はリタイヤするまでに取得したゲーム数を記録する。

8. リーグ戦の試合順序

No.	対 戦	

9. 試合球

- ・ブリヂストン・XT8(ビジネスパルテニス関東大会使用球)を使用すること。
- ・ボールが入手困難な場合にはディレクターに一報願います。
- ・男子地区予選リーグ及び**入替戦の試合球**は各実業団の持寄りとします。

10. 審判

- ・原則としてセルフジャッジとする。
- ・男子地区予選リーグではレフェリーの設置がありませんが、両チーム監督者の同意のもと、審判を設置することができます。

11. セルフジャッジについて

- ・『2018年度テニスルールブック』を遵守のこと。
 - ①コールをもって瞬時に行なう。(手合図は補助的)
 - ②ホールマークチェックのためネット延長上を超えてはならない。
 - ③ポイント間は20秒、コートチェンジは90秒ルールを守ること。
 - ④サービスのレットはレシーバー(ダブルスの場合はそのパートナーも含む)のみがレットをコールできる。
- ・セルフジャッジ5原則
 - ①判定が難しい場合はグッド。(相手に有利に)
 - ②アウトまたはフォールの判定は、ボールとラインの間にはっきりと空間が見えたとき。
 - ③サーバーはサービスを打つ前に、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス。
 - ④ジャッジコールは、相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに。
 - ⑤コート外の人は、セルフジャッジへの口出しはしない。

12. ベンチコーチ、ホールパーソン

- ・ゲーム終了時のエンド交代時に限り、プレーヤーはコート内にいるベンチコーチからコーチングを受けることができる。但し、タイブレークゲーム中のエンド交代時を除く。
- ・その他、いかなる試合においてもプレーヤーは競技中コーチングを受けてはならない。
- ・コート内にいるコーチは、競技中の自チームのプレーヤー以外の誰からもコーチングを受けてはならない。
- ・各チーム毎に各1名/面づつ可。ホールパーソンは拍手喝采できません。
- ・コーチングは『2018年度テニスルールブック』を厳守すること。

13. ウエア及びシューズ

- ・各チームとも下記の条件でチームカラーを積極的に取り込んだユニフォームの着用を期待します。
 - ①男子はシャツにショーツ、女子はワンピース又はシャツにスカートあるいはショーツとする。
ウォームアップ時も同様とする。
 - ②色物は制限しません。(但しチームがコントロールしてください)
 - ③自チームの企業名、ロゴの表示については大きさ、数の制限はしません。
自チームの企業広告を目的としたウエアへの表示は対戦相手のプレーに支障を与えないと判断される場合は制限しません。
 - ④ウエアの製造業社の表示物は『2018年度テニスルールブック』を遵守のこと。
 - ⑤気象条件等を勘案し、ウォームアップスーツの着用を認めるが、同様の規定の対象とする。
 - ⑥疑義のある場合は、事前にレフェリーのチェックを受けてからコートに入ること。試合中に注意を受けないように。

14. 選手変更

- ・男子地区予選リーグでは各試合の都度、男女決勝リーグでは初回の監督者会議において変更又は追加を1名に限り許可する。なお、チーム未登録のOG、OB、派遣社員、業務委託社員の選追加・変更することはできません。

但し、変更又は追加する選手は事前に実業団登録が完了されていること。

- ・変更又は追加する選手はメンバー表の最後尾とする。
- ・複数チームが出場している場合(A,B,C等)の既登録選手及び一旦変更又は追加した選手はチームを異動して出場できません。

15. ポイント

- ・各地区予選リーグは全ポイント消化を原則とする。
- ・ポイント決定後、登録選手内での出場選手の変更を認める。但し、所定の用紙に記入の上、レフェリーあるいは地区担当実業団委員(男子地区予選限定)及び対戦チームへ提出すること。
- ・選手変更した場合の試合も正式な試合であり、ポイントはそのまま有効とする。

16. 休憩

- ・続けて試合を行なう場合の休憩は15分以内とする。

17. 試合順序の変更

- ・15分を超える空きコートが生じる場合には、試合順序を変更することがある。

18. 表彰他

- ・男子はベスト4まで、女子は準優勝までの実業団を表彰。

19. ウォームアップ

- ・5分以内とする。厳守。

20. オーダ

- ・シングルのオーダはメンバー表の登録順序(登録ナンバーの小さい順にシングルスNo.1,2,3)による。
- ・ダブルスのオーダは全ての試合において制限しない。

21. その他

- (1)1度交換、提出したオーダは変更不可。但し、**チームの勝敗決定後**は申請すればオーダの変更は可能
- (2)原則的にオーダ交換時に出場メンバーが揃っていること。
- (3)適正でない棄権、不戦は次の試合への出場を停止することがある。
- (4)雨天の場合はマネージャ間で日程調整し、変更を地区担当実業団委員に連絡すること。
- (5)団体戦形式であることから、コート後方のネットに社旗を必ず掲揚して下さい。
- (6)定刻10分前にコートに入れる準備をし、オーダ用紙2部作成すること。(相手チーム用、自チーム用)
決勝大会においては3部(対戦相手チーム用、自チーム用、大会本部用)作成し、
オーダ交換前に必ず大会本部に提出し、レフェリーのチェックを受けること。
- (7)試合前にネットをはさんで整列し、オーダを交換すること。
- (8)男子地区予選リーグの試合終了後、試合結果報告書及び選手変更届を地区担当実業団委員宛に3日以内にFAXまたはメールすること。
- (9)男子地区予選リーグではポイント以外のエキジビジョンマッチの開催を期待します。

【男子決勝リーグ】

●Aブロック

					勝 敗	ポ イ ント	取得ゲーム率	順 位

●Bブロック

					勝 敗	ポ イ ント	取得ゲーム率	順 位

●第1～4位決定リーグ

					勝 敗	ポ イ ント	取得ゲーム率	順 位

●第5～8位決定リーグ

					勝 敗	ポ イ ント	取得ゲーム率	順 位

●県央第1－2部入替戦
第1部第6位

VS

第2部第2位

●県央第2－3部入替戦
第2部第6位

VS

第3部第2位

●県央第3－4部入替戦
第3部第6位

VS

第4部第2位

●県央第4－5部入替戦
第4部第6位

VS

第5部第2位

【男子メンバー表(実業団名はアイウエオ順)】 ★はOG, OB, 派遣社員, 業務委託社員

実業団名	監督	選手1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
足利銀行A	狐塚	藤倉	吉田	関根	中村	狐塚	名賀石	阿久津	片見		
足利銀行B	川田	茂木	川田	伏木	伊藤	福田	渡部	瀬崎	鈴木	神山	★佐藤
宇大教職員	田澤	田澤	佐藤	矢口	飯郷	六本木	★星野				
宇都宮市役所A	大内	福田	石戸谷	中島	阿部	大内	中川	市村	石崎		
宇都宮市役所B	高根澤	飯山	小西	高根澤	五江渚	峰島	星野	蔵野	古川		
花王A	安藤	芋川	横堀	安藤	松村	有田	村田	加藤	寒川	大崎	北村
花王B	惣野	惣野	堀公	田中	園田	瀧澤	劉	佐藤	福岡	刀禰	
花王C	堀	瀬戸	堀	水越	横関	安田	松永	佐藤	張	只井	
キヤノンA	越智	池田	矢木田	越智	若園	附田	長尾				
キヤノンB	塚本	塚本	高野	杉山	井田	石井	鷹家	秋元	李	浅野	
キヤノンC	富永	豊原	太田	齋田	大谷	縄田	下村	高梨	富永		
キヤノンD	高田	瀧尾	永澤	小池	平野	篠田	高田	坪内	藤丸	柳	田邊
KDDI	小山	小坂	松原	上口	東屋敷	★大野	藤原	菊地	里中	小山	松井
コマツA	小笠原	福田	原	小林	市川	水谷	★山崎	小笠原	稲田	谷田部	小塚
コマツB	大内	高橋	大橋	石島	大栗	大内	★平尾	中山	関戸	山崎	出井
シャープ	佐嶋	佐嶋	谷原	小寺	飯田	西山	北野	堀	加藤	高根沢	秋山
SUBARU_A	吉岡	吉田	服部	阿部	阿久津	上野	八木橋	森	吉岡		
SUBARU_B	坂寄	大竹	森田	村山	園部	坂寄	山谷	根岸	安藤	★渡部	
SUBARU_C	河原	小田巻	長山	堀見	河原	★下村	小林	尾方	濱田	渋谷	三浦
デクセリアルズA	大河原	大河原	菊地	森田	石井	向井原	柳田	高木	附田	佐成	★川島
デクセリアルズB	長島	折原	小林	鈴木	菊池	渡邊	篠崎	山崎	長島	野澤	★北岡
CMSC A	西塚	西塚	滝川	藤瀬	掛江	豊田	遠藤				
CMSC B	久保田	久保田	五十嵐	大石	佐渡友	阿部	赤川				
CMSC C	小山	福尾	小山	藤原	安原	征矢	国立	児玉			
栃木銀行	田仲	石岡	田仲	長谷川	日下田	藤城	高橋	石川	矢口	沼尾	★木村
栃木県庁A	阿久津	江連	大貫	法師人	若林	阿久津	小林	去田	岩村		
栃木県庁B	菅又	金子	大賀	手塚	鈴木	菅又	水沼	印南	竹澤	多賀谷	
栃木県庁C	坂本(智)	岩見	大谷	内田	後藤	須田	佐藤	★坂本(孝)	坂本(智)	★田中	
栃木県庁D	長島	塩沢	金原	大根田	長島	池田	萩原	菊池	長嶋		
栃木県庁E	小沼	杉本	堀越	小沼	木村	磯野	鈴木	★林田	★添田		
ニコンA	床井	鈴木	小野	床井	勝山	斎藤	高井				
ニコンB	岡本	朝日	新谷	中山	鬼武	樺澤	高岡	松本	田井	岡本	
日産自動車	篠崎	津浦	岩崎	藤代	菅野	篠崎	菊地	小坂	平池		
古河日光A	伊井	荒木	宮内	大西	佐藤	吉田	伊井				
古河日光B	福津	金田	中川	三原	福津	佐野	秋谷				
ホンダEG_A	宮前	米澤	後藤	永井	中村	宮前	肥後	岩永			
ホンダEG_B	川島	浅野	中村	向山	深井	稲木	吾郷	川島	内田		
ホンダEG_C	村田	高林	儀賀	吉田	村田	山下	小鷹	鶴田	土井	木村	室井
本田技術研究所A	金井	成瀬	両角	山本	上村	田村	金井	山田	吉川	吉村	
本田技術研究所B	大纏	金山	木村	大纏	坂田	根本	萩原	松本			
本田技術研究所C	佐藤	小島	長浜	佐藤	城	柄澤	新田	古谷			
本田技術研究所E	鵜澤	篠崎	斎藤	本原	鵜澤	江連	中野	尾上			
矢崎総業	杖本	川瀬	原	山本	加藤	井上	畦柳	五島	杖本	坂本	羽柴

【栃木県実業団対抗秋季テニスリーグ 戦績一覧】

【男子】

大会No.	開催年度	優勝	準優勝	第3位	第4位
第1回	1995年	栃木県庁A	富士通那須	日産自動車A	昭和アルミニウム
第2回	1996年	足利銀行A	栃木県庁A	本田技術研究所A	昭和アルミニウム
第3回	1997年	足利銀行A	本田技術研究所A	栃木県庁A	昭和アルミニウム
第4回	1998年	足利銀行A	本田技術研究所A	栃木県庁A	ブリヂストンメタルファ
第5回	1999年	足利銀行A	栃木県庁A	富士通	昭和アルミニウム
第6回	2000年	足利銀行A	栃木県庁A	本田技術研究所A	ブリヂストン
第7回	2001年	足利銀行A	栃木県庁A	ブリヂストン	昭和電工A
第8回	2002年	足利銀行A	栃木県庁A	本田技術研究所A	ブリヂストン
第9回	2003年	本田技術研究所A	栃木県庁A	シャープ	東芝那須A
第10回	2004年	栃木県庁A	本田技術研究所A	本田技術研究所C	コマツ
第11回	2005年	本田技術研究所C	栃木県庁A	本田技術研究所A	シャープ
第12回	2006年	キヤノン	本田技術研究所A	栃木県庁A	東芝那須A
第13回	2007年	栃木県庁A	キヤノン	コマツ	富士重工
第14回	2008年	本田技術研究所A	栃木県庁A	本田技術研究所C	キヤノン
第15回	2009年	足利銀行A	栃木県庁A	本田技術研究所A	コマツA
第16回	2010年	本田技術研究所A	栃木県庁A	足利銀行A	コマツA
第17回	2011年	栃木県庁A	本田技術研究所A	ホンダエンジニアリングA	足利銀行A
第18回	2012年	ホンダエンジニアリングA	栃木県庁A	本田技術研究所A	日産自動車
第19回	2013年	本田技術研究所A	栃木県庁A	日産自動車	足利銀行A
第20回	2014年	鹿沼市役所	足利銀行A	本田技術研究所A	ホンダエンジニアリングA
第21回	2015年	本田技術研究所A	栃木県庁A	鹿沼市役所	足利銀行A
第22回	2016年	本田技術研究所D	コマツA	栃木県庁A	本田技術研究所A
第23回	2017年	栃木銀行	栃木県庁A	本田技術研究所A	コマツA

【女子】

大会No.	開催年度	優勝	準優勝	第3位	第4位
第1回	1995年	松下電器	東芝那須	自治医大職員	本田技術研究所
第2回	1996年	松下電器	本田技術研究所	KDD	—
第3回	1997年	昭和アルミニウム	松下電器	本田技研	富士通那須
第4回	1998年	昭和アルミニウム	本田技術研究所	松下電器	富士通那須
第5回	1999年	昭和アルミニウム	本田技術研究所	KDD	富士通
第6回	2000年	昭和アルミニウム	KDDI	本田技術研究所	日立栃木
第7回	2001年	昭和電工	栃木県庁	本田技術研究所	KDDI
第8回	2002年	宇大教職員	KDDI	栃木県庁	足利銀行
第9回	2003年	宇大教職員	栃木県庁A	KDDI	栃木県庁B
第10回	2004年	KDDI	栃木県庁A	宇大教職員	栃木県庁B
第11回	2005年	栃木県庁A	宇大教職員	KDDI	栃木県庁B
第12回	2006年	栃木県庁A	KDDI	栃木県庁B	本田技術研究所
第13回	2007年	栃木県庁A	KDDI	富士重工	宇大教職員
第14回	2008年	KDDI	栃木県庁A	宇大教職員	富士重工
第15回	2009年	栃木県庁	KDDI	本田技術研究所	富士重工
第16回	2010年	栃木県庁	KDDI	本田技術研究所	花王
第17回	2011年	栃木県教職員	KDDI	本田技術研究所	栃木県庁A
第18回	2012年	本田技術研究所	栃木県教職員	栃木県庁	東芝那須
第19回	2013年	本田技術研究所	栃木県教職員	栃木県庁	花王
第20回	2014年	本田技術研究所	栃木県教職員	栃木県庁	花王
第21回	2015年	栃木県教職員	栃木県庁		
第22回	2016年	栃木県教職員	栃木県庁	足利銀行	
第23回	2017年	栃木県教職員	栃木県庁	足利銀行	コマツ